

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	国民健康保険税賦課事務事業	会計	国民保険	事業No.	254	施策順No.	31-015
		事業種別	政策・その他	予算科目	1-2-1-10-1		
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり			課等名	保健課		
施策	31 心と体の健康づくり			事業期間	開始	S34	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	国民健康保険税の納税義務者						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
		国民健康保険被保険者世帯数(世帯)	21501	15830	15302	15201	15200		
		国民健康保険税調定額(千円)	2861711	2230347	2667619	2566445	2200000		
意図	適正かつ公平な課税を行い、納税義務者に適正な納付をせしめらう								
対象をどう変えるか	意図	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
		納税者に納税通知書が確実に届いた割合	99.8	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		地方税法並びに飯田市国民健康保険条例、飯田市国民健康保険税条例に基づき、住民の所得データを正確に捕捉し、なお医療費等の試算を綿密に行うことにより適正かつ公平な課税を行うよう心掛けた。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	地方税法並びに飯田市国民健康保険条例、飯田市国民健康保険税条例に基づき、住民の所得データを正確に捕捉し、なお医療費等の試算を綿密に行うことにより適正かつ公平な課税を行う。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 暫定賦課 4月～7月 2 住民税データの捕捉、医療費の試算 3 国保税あん分率の決定 4 運営協議会諮問、答申 5 6月議会上程 7 7月本算定、8月納税通知書発送	1 暫定納税通知書数 2 本算定納税通知書数	1 14,411世帯 2 14,336世帯
23年度実施計画	1 暫定賦課 4月～7月 2 住民税データの捕捉、医療費の試算 3 国保税あん分率の決定 4 運営協議会諮問、答申 5 6月議会上程 7 7月本算定、8月納税通知書発送	1 暫定納税通知書数 2 本算定納税通知書数	

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		13,480	10,855	13,469		
計 (A)		13,480	10,855	13,469		
	正規職員所要時間		2,000			
	臨時職員等所要時間					
	人件費計 (B)		7,152			
	トータルコスト A+B		18,007			

4 事業に対する市民や議会の意見

市民、運営協議会、議会からは、国民健康保険税をなるべく低く抑えて納入しやすくするよう意見が出されている。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民が心身ともに健康を保つ	施策の成果指標又はムトス指標	生活習慣病による65歳未満死亡率(飯田市の65歳未満人口を10万人と想定した時、年度でなく年が基準)(人) 特定健康診査の受診率(国保)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	・国民健康保険事業の健全な運営に向け、適正かつ公平な課税を行うよう事務を実施した。		
	後期に向けた課題	・国民健康保険事業の健全な運営に向け、引き続き適正かつ公平な課税を行うよう事務を実施する。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	・医療費は高齢化の進行等により増高する一方、社会経済状況の悪化により国保税の収納率は伸び悩んでおり国民健康保険の運営は厳しさを増しているが、地方税法並びに飯田市国民健康保険条例、飯田市国民健康保険税条例に基づき、住民の所得データを正確に捕捉し、なお医療費等の試算を綿密に行うことにより適正かつ公平な課税を行うよう心掛けた。		
	後期に向けた課題	・国民健康保険事業の運営はさらに厳しさを増すことが明らかとなし、国による制度改正も見込まれることから、一層適正かつ公平な課税を行うよう事務を実施する。		
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	特になし		
	後期に向けた課題	特になし		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・保険者として市の関与は適正である。		
	後期に向けた課題	特になし		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してありましたか	4年間の振り返り	特になし		
	後期に向けた課題	特になし		
全体を通じて	4年間の振り返り	・医療費は高齢化の進行等により増高する一方、社会経済状況の悪化により国保税の収納率は伸び悩んでおり国民健康保険の運営は厳しさを増しているが、地方税法並びに飯田市国民健康保険条例、飯田市国民健康保険税条例に基づき、住民の所得データを正確に捕捉し、なお医療費等の試算を綿密に行うことにより適正かつ公平な課税を行うよう心掛けた。		
	後期に向けた課題	・国民健康保険事業の健全な運営に向け、引き続き適正かつ公平な課税を行うよう事務を実施する。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------